アパレル設計～パターンメーキング（型紙製作）：　検反作業

職務遂行のための基準

（検反、用尺幅の確認）

○　検反機の使い方、検査項目について理解したうえで作業を行っている。

○　入荷した反物の長さ、生地幅、色ムラ、織りキズ、布目曲りなどについて、所定の方法により検反機を使用して確認し、検査結果を上長に報告している。

○　検反により不良箇所を発見した場合には、他者にもわかるよう不良箇所に目印をつけている。

収縮率の確認

○　プレス収縮や引張・曲げなどの力学物性試験による収縮データの読み方について理解している。

○　生地の種類や加工条件によるスポンジング（縮絨）機の機種の違いについて理解し、上長の指示のもと、最適な機種を用いて確実な操作を行っている。

○　スポンジング後の一定時間のエイジング（放反）の意味を十分に理解し、上長の指導のもとで確実に行っている。

反物の保管・整理

○　入荷した反物は、変色や汚れ、波皺を発生させないために、湿気を帯びたところに置かない、立てかけて置かないなど、所定の方法に基づき保管している。

○　入荷した反物は、メーカーの使用する品番毎でまとめておく等、間違いがないよう所定の方法で整理・保管している。

●必要な知識

1. 繊維の種類、特徴及び用途に関する知識
2. 織物の種類、組織、用途及び加工方法に関する知識
3. 編地及び不織布の種類及び用途
4. 安全衛生に関する知識
5. 製造工程に関する知識
6. 作業指示書に関する知識
7. マーキング方法に関する知識（配置、地の目、柄、所要量の見積）
8. 縫製の方法に関する知識
9. 製品検査に関する知識
10. アパレル用コンピュータの種類、用途及び使用方法に関する知識（パターンメーキング、グレーディング、マーキング、カッティング、グラフィック、パターンシーマー）
11. 製造に使用する機械及び器工具の種類及び使用方法（延反機、裁ちほうちょう、丸刃式裁断機、縦刃式裁断機、バンドナイフ式裁断機、ダイカット、自動裁断機、その他の器工具、工業用ミシン、アイロン、バキューム台、製図用具）
12. 婦人子供既製服に関する日本工業規格に関する知識
13. 家庭用品品質表示法に関する知識